



多世代との交流イベント



買い物ツアーを楽しむ参加者



みんなで音楽を楽しむ会

どこで

■岐阜県高山市



だれが/だれと

まちスポが中間的な存在として市民と企業、そして行政とのコーディネートやサポートを行っています。

なぜ

地域の中で何かしたいと思っていながら一歩踏み出せない人々が多くいます。そのためボランティアグループやNPO法人の活動発表の場をまちスポが提供し、広く社会に市民活動の意義を伝える場となっています。様々な地域課題に取り組み始めた市民活動を応援することが地域活性化につながるの考えからです。



ワールドバーに参加した地域の若者

2013ハイライト

企業とNPOが協働で立ち上げた中間支援組織であるまちスポの活動が認められ、大和リース(株)とソムニードが、第10回パートナーシップ大賞優秀賞を受賞しました。国内事業の中心的な活動になっています。

これから

商業スペースでのNPO活動の可能性とネットワーク化や、異業種の連携を通じた町おこしをさぐっていきます。男性や中高齢者の活動への参加促進が課題です。



VVKの女性たちが暮らすスラム地



女性たちが計画から準備、運営まで取り仕切って催されるVVK総会の様子



女性リーダーのひとりがかつて、ソムニードのスタッフにこのような言葉をくれました。「この事業は、今までの事業と違う。私たちが物乞いのように何かをもらう事業ではなく、責任を持って事業をまかされるのだ」

どこで

■インド アーンドラ・プラデシュ州 ビシャカバトナム市内

だれが/だれと

ビシャカバトナム市及び郊外のスラム地域に暮らす女性たちが設立したマイクロファイナンス協同組合 Visakha Vanitha Kranthi (VVK)

なぜ

スラム女性たちは「貧困層」向け援助の「お客さん」と化していました。そこでソムニードは、彼女たちの貯金と出資金だけを元手に、彼女たち自身がルールを決めて資金を回していく「困った時に・必要なだけ・低利子で借りられる」信用金庫の設立と運営をサポートしてきました。

2013ハイライト

2004年からソムニードの研修で鍛えられてきたオバチャンたち。98人が約12,000円の元手で始めた信用金庫は、2014年3月の時点で、年間貸付高3178万円・会員数3160人となりました。1000人の会員に行ったVVKの融資サービスや運営に関する調査では、ビジネス目的で融資を受ける会員よりも日々困った時に家計の足しになるよう融資を受けている会員の方が4倍多く、ニーズに合った運営が継続されていることが確認されました。

これから

ソムニードの支援は2013年度までで終了します。めでたく、支援を「卒業」です。2014年度は、ソムニード・インドアがオバチャンたちから「コンサルタント」として委託を受け、必要な指導を行っています。

INDIA

Project Data

INDIA